

一般質問

市政全般にわたり14人の議員が質問しました。

災害関連死について

中澤 邦雄 議員《日本共産党》

災害関連死とは、被災後の避難のストレスや持病悪化などが原因で亡くなることで、1995年の阪神・淡路大震災から認定されるようになり、遺族の申請を受けて市町村が審査委員会などで可否を判断し、認められると災害弔慰金が受けられるようになります。災害関連死者数は、阪神・淡路大震災で921人、東日本大震災で3701人など、これまでに全体で4958人というのですが、実際は5千人を超えていると言われています。本市の避難所における災害関連死を防ぐ対策について伺います。

災害関連死については、避難所の生活環境の悪化により避難者の健康に大きな影響を与えることが課題であると考えています。本市では、トイレ環境の整備として、小学校の校庭に災害時し尿一時貯留槽の設置を計画的に進めていますが、避難が長期化する場合には必要な、段ボールベッドの導入やプライベート空間の確保などの環境整備については、整備コストや保管場所が必要のため、課題となっています。危機管理部署を中心に、健康部や避難所運営委員会などが連携し、専門的な指導も受けながら、万全の体制で取り組めるよう対策に努めます。

一定の障害がある65歳から74歳に後期高齢者医療制度の周知を

守谷 浩一 議員《日本共産党》

65歳から74歳の一定の障害がある方は、後期高齢者医療制度に加入できます。一定の障害がある方とは、障害基礎年金1級、2級、身体障害者手帳1級から3級と4級の1部、療育手帳A1、A2、精神障害者保健福祉手帳1級、2級のいずれかが該当する方です。4級の一部とは、下肢

障害4級1号（両下肢の全ての指を欠くもの）、下肢障害4級3号（一下肢を下肢2分の1以上で欠くもの）、下肢障害4級4号（一下肢の著しい障害）、音声や言語機能の著しい障害、そしゃくの機能を欠くものです。後期高齢者医療制度加入により、保険料や窓口負担が国民健康保険に比べて

児童虐待防止対策について

熊切 和人 議員《自民党・いさま》

児童虐待を防止するためには、社会全体が関心を持ち、力を合わせて、真正面から取り組まなければなりません。そのためには、児童虐待の早期発見を始め、さまざまな啓発事業等に取り組まなければならないと考えますが、児童虐待撲滅に向けての市長の決意を伺います。

児童虐待を防止するためには、的確に受けとめ、それに対して応えていく気配りや心配りを常に持つべきであり、虐待が起らないようにすることが第一ですが、もし起こってしまった場合には、最小の程度で食い止められるように、日ごろから一枚岩となって取り組む必要があると思います。そうしたことを市だけではなく、児童相談所や関係機関と連携し、関係を強化しながら、しっかりと児童虐待の撲滅に向けて進んでいきたいと思っています。

市長 虐待の事案があることを念頭に、市の職員は全体の奉仕者であるという自覚を持ち、誰の側に立つべきなのかということをしつかりと職員自身が受けとめ、覚悟を持ち、親身になって慎重かつ毅然とした対応をとっていく必要があると思います。これは、子育てや教育などの環境にある関係者の方々が、ひとしく持つべき立場、覚悟だと思っています。虐待を受けている子供

のホームページで該当する障害等級などの詳しい掲載や、広報で制度内容を伝えることについて見解を伺います。
福祉部長 後期高齢者医療制度の周知について、ホームページ及び広報の関係部署と調整し、制度内容を広く周知することを検討していきます。

空き家の実態調査に水道使用者情報を提供

竹田 陽介 議員《自民党・いさま》

空き家対策について、水道使用がおおむね1年以上休止状態の一戸建て住宅の中から土地の台帳地目が宅地の物件を絞り込み、空き家候補地として整理した情報に、市が把

握している空き家情報と市民や自治会等からの空き家情報を反映させることで、現地調査の必要な対象物件が特定できると考えます。平成30年第1回定例会では、水道使用者



肺炎球菌ワクチン接種の周知徹底について

伊藤 多華 議員《公明党》

国の人口動態統計によると、高齢者の死因は、1位のがん、2位の心疾患や脳血管疾患に次いで3位が肺炎で、がんや脳血管疾患の患者が肺炎になり亡くなるケースも多いようです。高齢者が肺炎になると、入院などで体力が低下し、治っても生活に支障をきたしやすくなります。高齢者の肺炎予防に有効な肺炎球菌ワクチンの定期接種について、広報やホームページで周知されていますが、見落とししている方も多くいると思います。国の制度が変更され、定期接種の経過措置が5年延びて平成36年3月31日までになりました。接種機会を逃していた方も含め、

局と連携を強化し、空き家に関する情報を日ごろから把握するように、また、空き家担当部局から空き家の水道の使用状況や、それらが使用可能な状態にあるか否かの情報の提供を求められた場合には、水道事業者は必要な協力を行うようお願いするとの内容でした。上下水道局としても個人情報取り扱いの諸手続を踏まえ、積極的に情報共有を図っていきます。

エアゾール製品の取り扱いに十分な注意を促すことについて問う

加藤 学 議員《公明党》

ヘアスプレー、消臭スプレーなど、子供も使用するエアゾール製品には、可燃性の液化石油ガスとジメチルエーテルが幅広く使用されています。液化石油ガスはプロパンガス、

一人でも多くの方に接種してもらうため、個別の通知やコール・リコールが必要と考えますが、見解を伺います。
健康部長 本市では国の制度とは異なり、市民の利便性、健康面を考慮し、肺炎球菌の予防接種を65歳以上であればいつでも接種できるようにしているため、個別通知ではなく、市ホームページ、広報等で周知しています。しかし、接種者は事業開始時より伸び悩んでおり、本事業を十分に理解されていない高齢者がいることが考えられるため、今後さらに医療機関等の協力をいただきつつ、ポスター等で周知、啓発に努めていきます。

本会議の概要

- ▽2月21日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・提案説明
- ▽2月22日 総括質疑・委員会付託、陳情上程・委員会付託、報告上程・質疑
- ▽3月1日 一般質問
- ▽3月4日 一般質問
- ▽3月5日 一般質問、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託
- ▽3月22日 委員会審査報告・質疑・討論・採決、常任委員会等の所管事務調査、議員派遣、議員提出議案上程・提案説明・質疑・委員会付託・討論）省略・採決、閉会
- なお、質疑、討論、総括質疑は、次の議員が行いました。
- 議案第1号・第2号に対する質疑（2月21日）
 - 竹田陽介（自民党・いさま）、佐藤弥斗（さま明進会）、安海のぞみ（公派に属さない議員）、沖永明久（会派に属さない議員）
- 議案第1号・第2号に対する討論（2月21日）
 - 竹田陽介（自民党・いさま）
- 総括質疑（2月22日）
 - 京免康彦（自民党・いさま）、安田早苗（公明党）、中澤邦雄